

「ザリガニといっしょ」



大鷹沢小学校2年生の皆さん

わが家の  
アイドル

ママからひとこと  
これからもたくさん笑って  
元気に遊ぼうね♥

パパからひとこと  
いつも笑顔で元気に育ってね



くさか 早下 颯太くん  
智徳さん、恵里さんご夫婦の長男（銚子ヶ森）

※わが家のアイドルを募集中！  
詳しくは総務課広報広聴係  
(☎22-1331)へ

白石市出身の我妻和樹監督が贈る待望の新作！

東日本大震災6周年上映会『願いと揺らぎ』

- ▶ 日時 1回目 6月20日(火)  
2回目 6月27日(火)
- ▶ 開演 各回18:30(開場18:00)
- ▶ 会場 壽丸屋敷  
(城下広場の駐車場をご利用ください)
- ▶ 料金 無料(予約不要、先着順)
- ▶ 定員 各回50人



あがつま かずき  
我妻 和樹 監督

1985年白石市福岡出身。白石高校卒。2008年3月の東北学院大学文学部史学科を卒業と同時に、同大学の民俗学実習で出会った宮城県南三陸町波伝谷でのドキュメンタリー映画制作を開始。

東日本大震災時には自身も現地で被災するが、その後震災までの3年間に撮影した240時間の映像を『波伝谷に生きる人びと』としてまとめ、2014年に日本映画ペンクラブ賞を受賞。2015年以降全国の映画館にて公開される。現在は宮城周辺で活動する映像作家と市民の交流ネットワークであるみやぎシネマクラドルの代表を務め、『願いと揺らぎ』の公開を準備する傍ら、長編2本を制作している。

STORY

前作『波伝谷に生きる人びと』で南三陸の震災前の営みを全国に伝えた我妻和樹監督(白石市福岡出身)が贈る待望の続編。津波によって集落が壊滅し、身も心もバラバラになってしまった波伝谷の人びとが、地域の伝統行事復活を通してかつての自分たちの姿を取り戻そうと動き出すも、集落の高台移転や漁業の共同化など多くの課題に直面して全く足並みの揃わない様子が描かれる。迷い、戸惑い、すれ違いながらも復興に向けて歩み続けた震災6年という時間。あのと自分たちが選んだ道は正しかったのか。仮設から高台へと移った今、被災地の「願いと揺らぎ」を振り返る渾身のドキュメンタリー。(2017年/145分)

主催・問い合わせ：ピーストゥリー・プロダクツ peacetree\_products@yahoo.co.jp  
共催：みやぎ・しろいしフィルムコミッション



白石市公式Facebookページ

本市では市政に関する情報を広く発信するためFacebookで情報を提供しています。良い記事には、ぜひ「いいね!」をお願いします!

アカウント名 白石市役所

URL <http://www.facebook.com/city.shiroishi>



「しろいし安心メール」の登録方法

「shiro-i@mpx.wagmap.jp」あてに空メールを送信して、案内に従ってご登録ください。二次元バーコード対応携帯電話をお持ちの方は、右のバーコードをご利用ください。



※今月の定例相談は22ページに掲載しています。

★職場をやめたときや社会保険の扶養から抜けたときは、そのことが分かる証明をお持ちの上、健康推進課で「国民年金」「国民健康保険」の手続きを行ってください。

